



391

高法會議所設立儀願書

高法ヲ講シ高則ヲ議ヒテ一般通商上ノ成規慣法ヲ改良タシ
又リ新業ヲ設ケテ更ニ其便益ヲ増ス事ヲ謀ルハ方今官商
仔々御經理マラセラルト云凡情ウ之レヲ實際ニ觀察スルニ其規畫
當時ニ適スルヲ得ルニ非レハ非令千百ノ思考ヲ尽シテ然不致
ノ法則ヲ編成スルモ之ヲ實施スルニ當テハ却テ人情ヲ背馳シテ
充分ノ知ヲ奏スルニ至ラサルノ類古今異例ナカラスニテ苟モ
ハ契ナカラレシト歎セハ復ラク厥ノ始ニ於テ善ク治ヒ廣ク詢リテ
能ク其ヲ精シキ者ヲニテ其說ヲ尽サレテ而シテ後之レヲ摘衆ノ輿
論ニ採リテ更ニ神智ヒテ其法ヲ俱成スルニ加カス是レ乃テ改良多國
於テ多ク高法會議所ノ設マル所以ニシテ而シテ一旦設立ラ得ルニ
於テハ特リ會同諸員ノ多其經營ニ付テ友誼ヲ厚クシ意向ヲ同
スルノ益ニルノミナラス共ニ全般ノ公利ヲ保護シ或ハ新報ヲ廣

東京

第一國大銀行

天正十一年四月



或、紛議、仲裁、スル事、以世蓋、ヲ禪神、スル事、實ニサ、タラサルニ、甘私、安、相、有、起、シ、テ、東、京、府、下、、於、テ、以、向、海、會、議、所、設、立、仕、成、奉、存、以、智、ヲ、以、此、元、々、由、テ、成、リ、因、テ、別、紙、別、紙、ヲ、及、設、立、見、込、書、抄、紙、以、成、事、秋、々、也、

明治十年 月

海濱 崇一

岩崎 仙太郎

善田 春

神谷 海一郎

三宅 村利助

左倉 在、心、守

早天、士、吉、的

海濱 志作

井中 邦秀

米倉 一平

内務卿大久保利通殿

高法會議所設立の儀、白別野書

副紙上申付、高法會議所設立の儀、高佐ノ私會
 ニシテ其會同ノ諸経費ニ亦各自ノ願金ヲ以テス、千奉、簿ヲ備テ
 カル儀、候得、日下ノ實況ニ就テ思想仕候、假令今般ノ公
 利ヲ與シ隨テ各自ノ餘存ヲ崇ル、トモタリ、モ其實知ヲ見サル
 ハ、際先ツ其願金ヲ募リ、入社ヲ勧誘、トモ、殊ニ萬志、トモハ
 其ノ印望スル者ヲ除ク、外ニ或ハ之ヲ厭フ、然テ其願金、トモ
 及、社人負、数稀サタルニ、却テ却テ所、相、通、ル、便、ソ、ル、キ
 此、没、テ、安、否、ノ、有、ハ、候、ニ、自、出、格、持、典、ヲ、以、テ、本、會、議、所、先、ト、キ
 家、心、一、テ、所、以、資、源、ニ、相、成、且、福、平、翻、譯、者、等、生、等、任、入、
 資、金、ト、シ、テ、毎、月、會、計、自、由、抄、回、其、年、ト、中、以、支、給、ト、爲、ル、
 此、及、白、別、野、書、也

商法會議所設立の見込書

第一款 社員撰挙ノ事

商法會議所、社員タラシ者ハ差向キニテ名ヲ五十名迄ヲ登起
クヨリ助誘シテ入社セシムヘシ

既ニ設立ノ後又ハ設立ノ際ニテモ入社ヲ望ム者アラハ社員一ヨリ衆
議ヲ以テ規則ニ照シ之ヲ拒ミ又ハ之ヲ許スヘシ而シテハ社員ハ敢テ
定員ヲ設ケサルヘシ

社員タルヲ許可スヘキ人員ハ東京各下ニ在任シテ其職務又ハ現ニ高
業ヲ営ミ且相産ノ家産ヲ有スル者ニ限ルヘシ若シ驕惰又ハ出職
ノ刑ニ處セラルシ或ハ身分ノ限リ、或分ヲ受ケタル者及ニ十歳未滿者
ハ敢テ社員ノ衆議ヲ取ル迄モナク之ヲ拒ムヘシ

以テ社員ノ衆議ニテ除名セラルカ又ハ自分ノ都合ニテ退社スルハ別
年限ヲ定ムルヲナク永ク社員タルヲ得ヘシ但社員中役員ノ撰任

セラル、モ其規程、其年限ヲ定ムヘシ
以社負タル者及役員タル者、其証トシテ會議所ニ於テ定ムル者
俾ニ後ニ辭令ヲ取スヘシ

第二款

役員擔任ノ事

尚法會議所、役員ハ社者一員ノ投票ヲ以テ社員中ヨリ推挙
スヘシ而シテ其會期又ハ副會期又ハ理事會員トナリタル人ニテモ會議
所ヨリ一人夫々ノ權利タルヘシ

役員ト稱スル者ハ理事會員ノ様タルヘシ而シテ會計
書記翻譯者等生、如キハ會期ノ考案ヲ以テ之ヲ社員中又ハ社
員中ヨリ推任スヘシ

社員中ヨリ推挙サレタル會計方又ハ書記ハ其事務ノ事務、付テハ會
期ノ指揮ヲ受ケルトモ其決議投票ノ時ハ社員タルノ權利ヲ有スヘシ

理事會員

會頭 一名

定式時時會議ノ議長トシテ會議所一般ノ善惡新舊ヲ調理
シ及其事務、任ス且會計方書記其他ノ者、事務ヲ進退スル
カ一副會期 一名

カ二副會期 一名

會頭ノ事務ヲ兼リ且其名譽席ノ時ハ議長ノ任ヲ代理ス
ル得ル

會計方 一名

會計方、事務、長ク會議所ノ簿記ヲ
及出納事務ヲ掌ル

書記 二名

書記、會計方ノ事務ヲ掌ル
尚法會議所ノ簿記ヲ掌ル

翻譯方 一名

翻譯方、會計方ノ事務ヲ掌ル
尚法會議所ノ簿記ヲ掌ル

筆寫 二名

筆寫、會計方ノ事務ヲ掌ル
尚法會議所ノ簿記ヲ掌ル

以上

理事會員

仲裁控訴委員 五名

此委員中ノ投票者以テ擔任スル

社員中又ハ社員他ノモノト間ニ起リタル紛争ヲ和解仲裁シ

及會議所ニ召テ以テ控訴ヲ起スルモノハ之ヲ管理スルヲ當ル

此委員ハ理事本員タル會社カ一別會社カ二別會社カ三名及社

ノ投票者以テ社員中ヨリ二名ヲ投票シテ成立スルモノトス

内國商業事務委員 五名

此委員中ノ投票者以テ擔任スル

内國ノ商業ノ関スル一切ノ事務ヲ調査スルヲ當ル

此委員ハ社員百ノ投票者以テ社員中ヨリ投票シテ成立スルモノトス

外國貿易事務委員 五名

此委員中ノ投票者以テ擔任スル

外國貿易ノ關スル一切ノ事務ヲ調査スルヲ當ル

此委員ハ國之各手続ニ由テ商業事務委員トシ

運輸及船舶事務委員 五名

此委員中ノ投票者以テ擔任スル

運送及船舶ノ關スル一切ノ事務ヲ調査スルヲ當ル

此委員ハ成立スル手續ニ由テ商業事務委員トシ

會社別會社及支店委員ノ會社ハ社員中ノ投票者ヨリ一各ニシテ三課

ニシテ五課スルヲ得ル

以上理事本員一課理事委員三課リス進テカ分課ヲ擔サレテ要ス

ル時ハ社員ノ衆議ヲ以テ之ヲ決定スル

第三款 社員集會議事ノ事

此議事ハ於テ議事ニ付スルモノハ都ラ一級ノ高等ノ關スル事務ノ限ニ

議目ハ諸君ヨリ下付セラルモノ又ハ社員中ヨリ選舉スルモノ又ハ社外

一般ノ人氏ヨリ選舉スルモノノ限ニシテ社外中ヨリ選舉スルモノハ其

議事ノト議事ノサレハ社員ノ投票ヨリ以テ之ヲ定メ且之ヲ議スルモノトスルモ
 全ク以テ議事ノ起リテ況ト同視シテ建白人ノ關係ヲサレハ
 會議ハ定式臨時ニ様々合テ定式會議ハ毎月一々サレハ
 開會出席スレシ又臨時會議ハ會務ノ考案ニ關ル或ハ社員十名以上
 ノ望ヨリテ何時ニテモ之ヲ開リヘシ

役員中十名ノ以上出席セサレハ(各別別分以テ合セテ)會議ヲ開ク
 可ラス故、定式臨時ノ會議ニ出座人ノ限ハ減スレハ其會議
 定スヘシ

定式會議

- 第一 直率事務ヲ記テテ議上ル事
- 第二 入社退社人ノリテ會議ヲ報告シ及其後議按望

一書

- 第三 理事全員ヲ事務ノ成跡ヲ陳述スル事
- 第四 理事全員ヲ事務ノ新視ノ議事ヲ備スル事
- 第五 各課ノ季負(會長自ラスル氏)ヲ以テ酒造シタル事務
 ヲ陳述シ及其後議ヲ案スル事

臨時會議

臨時會議ハ之ヲ開クノ前、何件ヲ議スルニテ會議スルニテ之ヲ
 スヘキニ付、何件ヲ議スルニテ之ヲ議スレバ、定式會議ニ安ルニテ
 議ス可ラス

第四款 諸官衙文書ノ事

本會議所ハ由事務ノ多寡スレシムルニテ其議事ノ形ヲ以テ之ヲ
 ニ對シテ日中ノ議事スヘシ
 然レモ其議目ヨリテハ事務有ク大者有ク小者有ク由事務ノ多寡ニ視テ

去新ハニニ接、諸般ノ京清又ハ後煤カニアルヘシ
諸官街ヨリ強目ヲ下付セラルルニ其議事ノ信託秩序ヲ斟酌セシ
及支拂上申、後日事一項掛目ノ有キヨリ昭示セラルルニキリテ向テ
更請ニ其取テリトヘテ向テ

議場ノ都合ヨリ、議事各件ノ内建白スルニ件ヲレハ隨時各官街ニ
其議申請スルニテ得ヘシ

諸官街ヨリ下付セラルルニキリテ、議目ニ付テ要目ノフアレハ其官街内又ニ其
ニシテ其議事ノ取テ要目ナル諸件、諸事ヲレハ或ハ相違、其分議所
有記ナリテ更候セシメ又ハ當任ノ官員ヨリテハ議場、臨ニ辨解
ニテフテ得ヘシ

以上四款ハ以高法會所ヲ設立スルニ於テ其部人共ノ合議スル
要目、候中ハ其要目ヲ納アリテ其設テリテ行カレリテ、建
同方ヨリ幕リ更ニ高法會所一般ノ規則及議場ノ規程等

湖島トテ上申可任トシ

明治十年五月

湖島 藤野 一

岩崎 海老 一

藤田 一 春

福沢 一 春

三浦 村 利 一

大倉 一 春

早失 仕 一 春

藤原 一 春

竹中 一 春

多田 一 春

水野 一 春

東京

第一國六銀行